明けましておめでとうございます。

暮れに親戚のご縁で葬儀の依頼がありました。年が明け二人の姉妹がお礼に参って見えました。亡くなられたお母様の法名は「釋尼親願」。住職がその法名にこめられた願いをお二人に話すのをそばで聞かせていただきました。「親願」の親には、亡くなられた親と阿弥陀様の二つが掛けてある、阿弥陀様のことを親様ともいうでしょう。親の願いは阿弥陀様の願いでもあります。これからは阿弥陀様が親となってくださる、手を合わす生活がはじまります。そこに親もいてくださる。信仰の生活です。合掌の仕草をされて、このこと（信仰）は何にもわからんとおっしゃっていた娘さんは目から鱗が落ちた様子で、何度も「そうかあ」とうなづかれました。帰り際もう一度阿弥陀様に参られ「ここにおかあちゃんがおるんや」と幼子のように頷き合いながら深々と頭を下げられました。見ているこちらまで胸が熱くなり、いい年明けをいただいたなあと歓ばせて頂きました。

本年もよろしくお願い申し上げます。　　　　　　　合掌

　　【平成２5年度第3回定例聞法会】

**平成２6年1月１３日（月曜日）**

　　　昼の部　一時半～、　夜の部　七時半～

　　　　　　〈念誦、お経本、肩衣〉